

スーパーマーケット販売統計調査資料

2014年9月実績 速報版
8月実績 確報版(パネル285)

(2014年10月21日公表)

調査資料概要

【パネル285】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象として同一285社を集計
※2014年4月実績よりパネル対象企業変更(306社→285社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

2014年10月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年9月実績 速報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	80,058,002	100.0%	102.0%	99.9%
食品合計	70,513,975	88.1%	102.4%	100.1%
生鮮3部門合計	26,954,706	33.7%	105.6%	103.3%
青果	11,243,030	14.0%	104.6%	102.5%
水産	7,069,186	8.8%	104.2%	101.9%
畜産	8,642,491	10.8%	108.2%	105.6%
惣菜	7,583,560	9.5%	105.1%	102.0%
日配	15,155,755	18.9%	101.2%	99.0%
一般食品	20,819,954	26.0%	98.3%	96.4%
非食品	6,522,582	8.1%	99.0%	98.4%
その他	3,021,446	3.8%	97.4%	96.6%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,485,664	48	101.5%	99.0%
関東地方	28,723,508	73	104.2%	101.3%
中部地方	9,785,610	57	101.6%	101.4%
近畿地方	17,462,268	43	100.2%	98.0%
中国・四国地方	7,295,317	39	100.0%	98.7%
九州・沖縄地方	4,305,635	25	101.5%	100.6%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	863,505	53	99.4%	100.0%
4~10店舗	3,810,033	76	102.1%	100.3%
11~25店舗	10,868,279	73	99.8%	100.3%
26~50店舗	14,715,706	43	101.9%	100.2%
51店舗以上	49,800,480	40	102.5%	99.7%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	77,543,631	
総店舗数 (店舗)	7,327	店舗平均月商 (万円)	10,926	
総売場面積 (㎡)	11,990,655	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年10月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年8月実績 確報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	87,434,164	100.0%	103.6%	101.5%
食品合計	77,087,117	88.2%	104.3%	102.1%
生鮮3部門合計	28,622,256	32.7%	108.2%	105.9%
青果	11,775,869	13.5%	104.7%	102.6%
水産	7,685,152	8.8%	107.5%	105.2%
畜産	9,161,235	10.5%	113.6%	111.0%
惣菜	8,796,739	10.1%	106.7%	103.8%
日配	16,261,451	18.6%	103.0%	100.9%
一般食品	23,406,672	26.8%	100.1%	98.1%
非食品	7,000,893	8.0%	98.5%	98.0%
その他	3,346,154	3.8%	96.6%	96.4%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	14,523,825	48	102.9%	100.2%
関東地方	30,335,397	73	106.6%	104.2%
中部地方	10,987,340	57	104.1%	103.3%
近畿地方	18,617,159	43	100.2%	98.5%
中国・四国地方	8,088,103	39	101.2%	99.3%
九州・沖縄地方	4,882,341	25	101.5%	100.3%

保有店舗数別集計

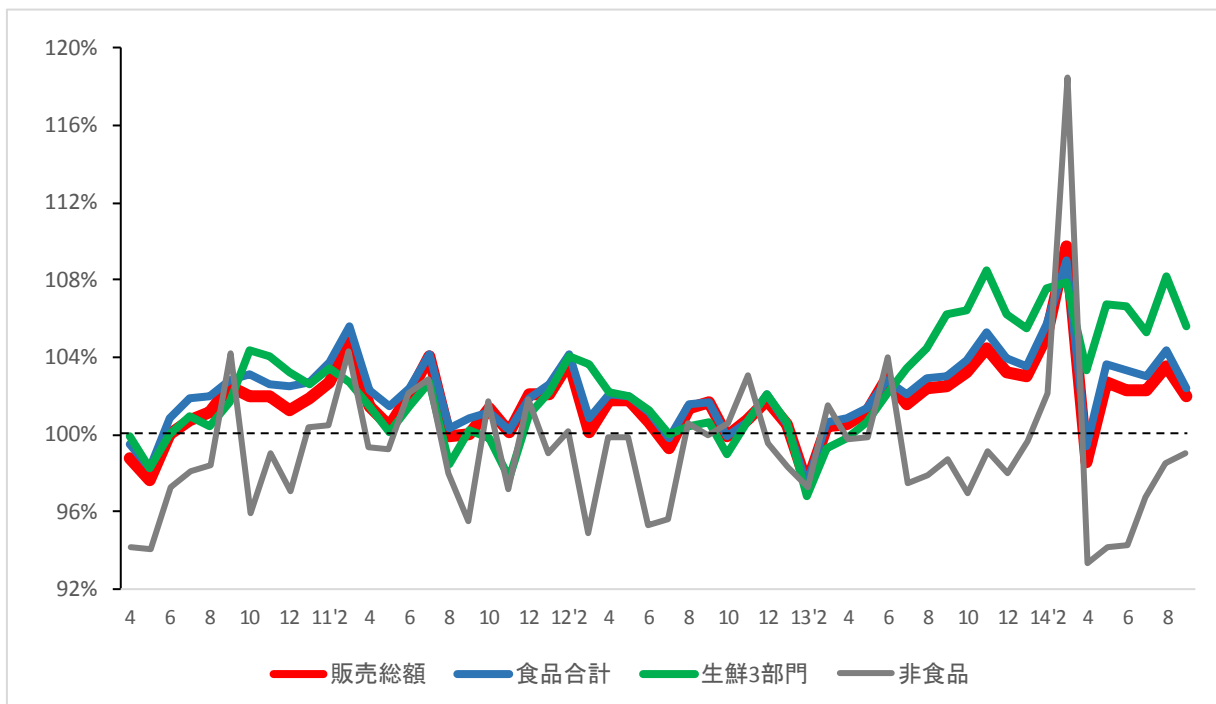
保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	957,080	53	101.5%	101.7%
4~10店舗	4,239,078	77	103.5%	102.3%
11~25店舗	11,979,160	72	101.4%	101.1%
26~50店舗	17,135,188	44	104.1%	102.3%
51店舗以上	53,123,658	39	103.9%	101.3%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	84,721,387	
総店舗数 (店舗)	7,333	店舗平均月商 (万円)	11,923	
総売場面積 (㎡)	11,986,292	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.3	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年9月(全店ベース対前年同月比)

販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品

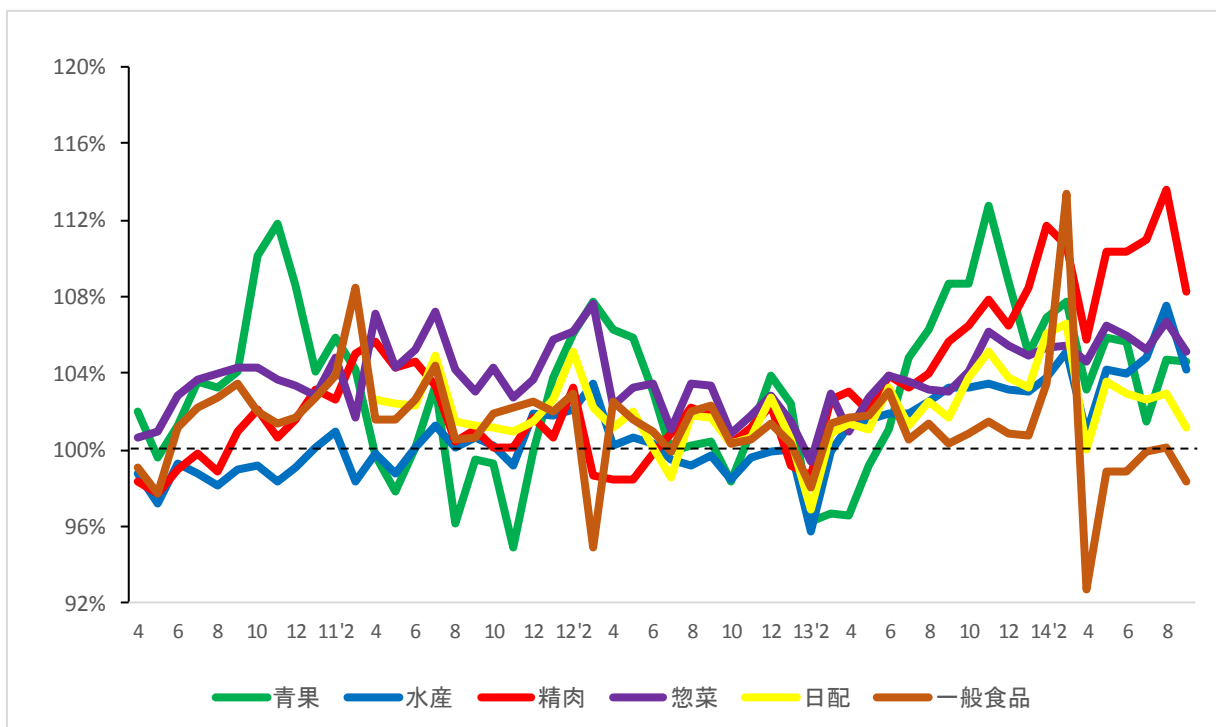


※2010年4月～2014年8月までは確報版による前年同月比、2014年9月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年9月(全店ベース対前年同月比)

青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2014年8月までは確報版による前年同月比、2014年9月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

2014年9月エリア別気候状況

①平均気温

2014年9月(平年との比較)

上旬は関東から近畿にかけて低く、中旬は全国的に低い気温となった

前年同月(2013年9月)と比較

上旬は関東と東海で低くその他は高く、中旬は全国的に前年に比べかなり気温が低くなった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2014年9月			2013年9月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	0.6	-1.5	0.5	0.1	1.8	0.4	0.5	-3.3	0.1
東北地方	-0.4	-1.6	0.3	0.1	1.6	1.1	-0.5	-3.2	-0.8
関東甲信地方	-1.5	-1.8	0.5	0.5	1.2	0.8	-2.0	-3.0	-0.3
北陸地方	-0.2	-1.8	0.4	-1.8	1.0	1.6	1.6	-2.8	-1.2
東海地方	-1.3	-1.7	0.5	0.0	1.0	1.4	-1.3	-2.7	-0.9
近畿地方	-1.0	-2.1	0.6	-2.0	0.7	1.6	1.0	-2.8	-1.0
中国地方	-0.7	-1.7	0.6	-2.3	1.0	1.9	1.6	-2.7	-1.3
四国地方	-0.7	-1.8	0.7	-1.7	0.5	1.4	1.0	-2.3	-0.7
九州北部	-0.5	-1.4	0.6	-1.8	1.5	1.7	1.3	-2.9	-1.1
九州南部・奄美地方	-0.1	-1.7	0.4	-0.7	1.4	1.2	0.6	-3.1	-0.8

平年差



前年差



②日照時間

2014年9月(平年との比較)

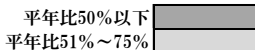
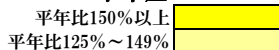
下旬にかけて全国的に平年に比べ長い日照時間となった

前年同月(2013年9月)と比較

中旬以降、西日本を中心に前年に比べ短い日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2014年9月			2013年9月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	115	96	126	81	92	95	34	4	31
東北地方	117	154	161	75	138	145	42	16	16
関東甲信地方	77	124	202	79	168	164	-2	-44	38
北陸地方	117	147	163	58	163	175	59	-16	-12
東海地方	83	120	178	76	158	181	7	-38	-3
近畿地方	81	116	172	57	168	209	24	-52	-37
中国地方	97	114	144	70	161	157	27	-47	-13
四国地方	81	90	134	58	155	161	23	-65	-27
九州北部	85	90	98	73	173	139	12	-83	-41
九州南部・奄美地方	85	73	97	89	147	130	-4	-74	-33

平年差



前年差



③降水量

2014年9月(平年との比較)

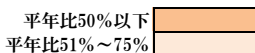
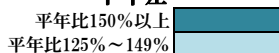
中旬以降は平年に比べかなり降水量が少なくなった

前年同月(2013年9月)と比較

上旬と中旬は前年に比べかなり少ない降水量となり、下旬はやや多い降水量となった

	降水量 平年比(%)								
	2014年9月			2013年9月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	90	139	42	92	223	98	-2	-84	-56
東北地方	54	57	64	149	144	22	-95	-87	42
関東甲信地方	128	18	16	162	147	28	-34	-129	-12
北陸地方	58	20	77	300	161	25	-242	-141	52
東海地方	108	12	77	177	147	8	-69	-135	69
近畿地方	105	19	53	307	328	5	-202	-309	48
中国地方	65	2	44	407	45	8	-342	-43	36
四国地方	155	9	16	429	142	4	-274	-133	12
九州北部	117	36	43	250	2	18	-133	34	25
九州南部・奄美地方	110	135	80	191	5	24	-81	130	56

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2014年10月調査結果(9月実績)

(10月21日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断は現状・見通し判断共に下落

9月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-3.2の46.4、見通し判断前月から-3.1の42.4と共に悪化する結果となった。他のDIも現状、見通し判断共に総じて-2前後の下落を見せている。

経営動向調査は、売上高DIが-3.2（前月比-6.9）、収益DIは2.0（前月比-5.1）となり共に前月より下落している。他のDIは大きな変化はみられないが、来客数DIが-11.4と改善しないなかで、客単価DIが7.1（前月比-4.6）と下落したことが影響している。

カテゴリー動向では、税率引き上げ以降、生鮮三品（青果、水産、畜産）と惣菜がプラス、一般食品や非食品でマイナスが続いており、今月もその傾向に変化はない。青果は6.2（前月比+2.5）と小幅に増加しているものの、水産や畜産はプラスを示しているものの、前月より減少している。中旬にかけて前年からの気温差（低下）が大きく、日配品と一般食品では飲料や冷菓を中心に不調となり、他業態との競合も加わり依然として改善には至っていない。

前年からの気温差や日曜日が前年より一日少ないことで、全体としてやや悪化した結果となった。特に景気判断の見通しDI42.4は、税率引き上げ直後の4月以来の低水準であり、消費の先行きに対して一段と慎重な見方が広がっているとみられる。

景況感調査

現状判断			
景気判断DI 当月：46.4 (-3.2) 前月：49.6	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：46.4 (-2.2) 前月：48.6	消費者購買意欲DI 当月：46.4 (-2.5) 前月：48.9	周辺地域 競合状況DI 当月：43.0 (-0.6) 前月：43.6
見通し判断			
景気判断DI 当月：42.4 (-3.1) 前月：45.5	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：44.6 (-2.1) 前月：46.7	消費者購買意欲DI 当月：44.3 (-1.9) 前月：46.2	周辺地域 競合状況DI 当月：39.4 (-1.4) 前月：40.8

経営動向調査

経営状況	
売上高DI 当月：-3.2 (-6.9) 前月：3.7	収益DI 当月：2.0 (-5.1) 前月：7.1
販売価格DI 当月：11.7 (-0.2) 前月：11.9	客単価DI 当月：7.1 (-4.6) 前月：11.7
来客数DI 当月：-11.4 (+0.0) 前月：-11.4	生鮮仕入原価DI 当月：16.9 (-0.9) 前月：17.8
	食品仕入原価DI 当月：10.9 (+0.4) 前月：10.5

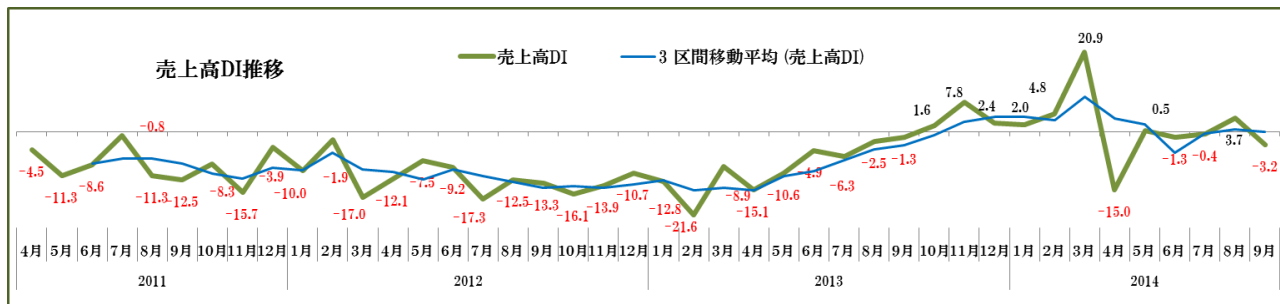
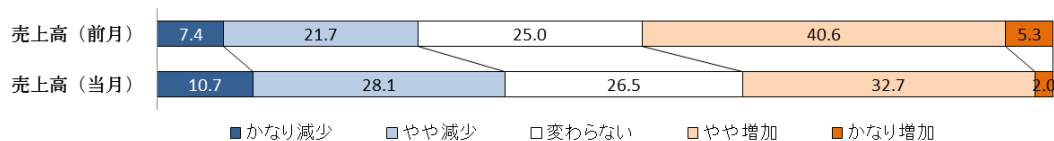
カテゴリー動向			
青果DI 当月：6.2 (+2.5) 前月：3.7	水産DI 当月：5.0 (-7.6) 前月：12.6	畜産DI 当月：19.4 (-5.3) 前月：24.7	
惣菜DI 当月：7.8 (-1.5) 前月：9.3	日配DI 当月：-8.2 (-5.6) 前月：-2.6	一般食品DI 当月：-19.6 (-4.7) 前月：-14.9	非食品DI 当月：-15.4 (+0.9) 前月：-16.3

() 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

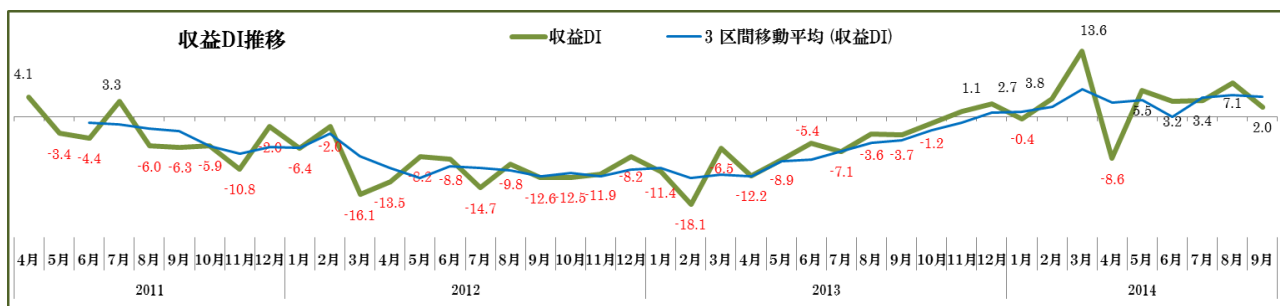
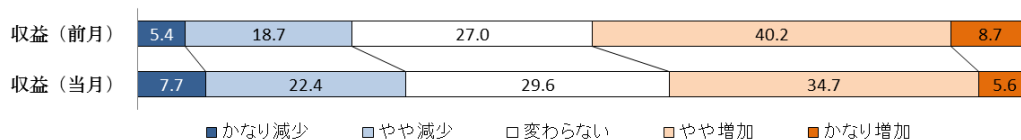
①売上高 DI

回復傾向に勢いなく 9月はやや弱含み



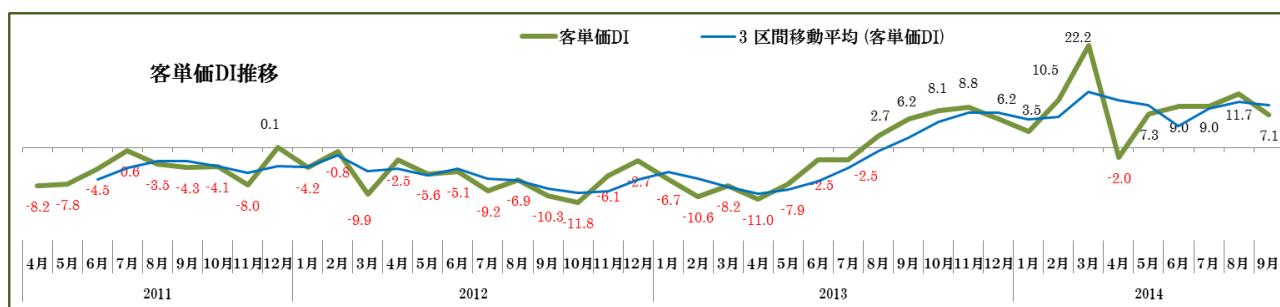
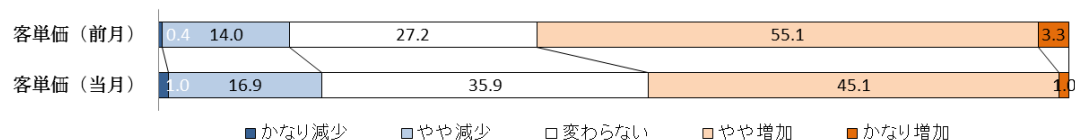
②収益 DI

5月以降はプラスを維持も横ばい推移



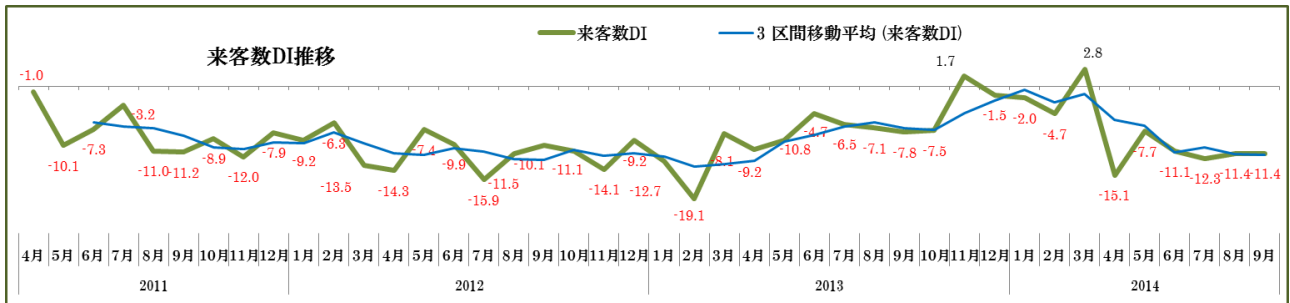
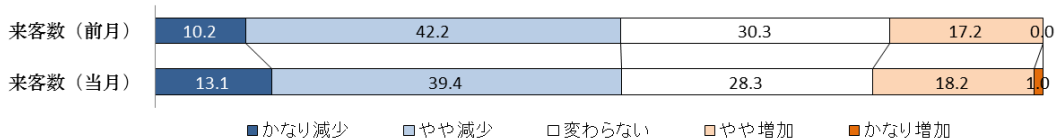
③客単価 DI

ゆるやかに上昇傾向も当月は下降



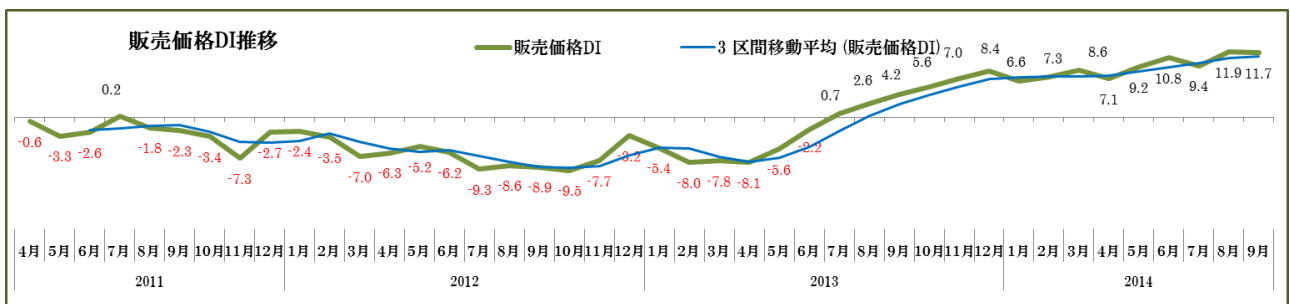
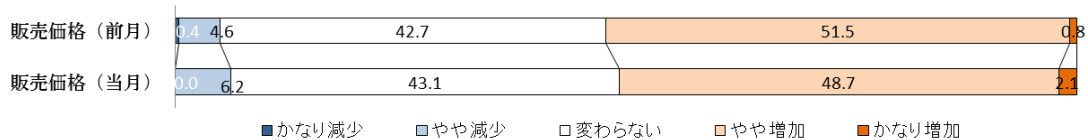
④来客数 DI

税率引き上げ後の下落から回復みられず



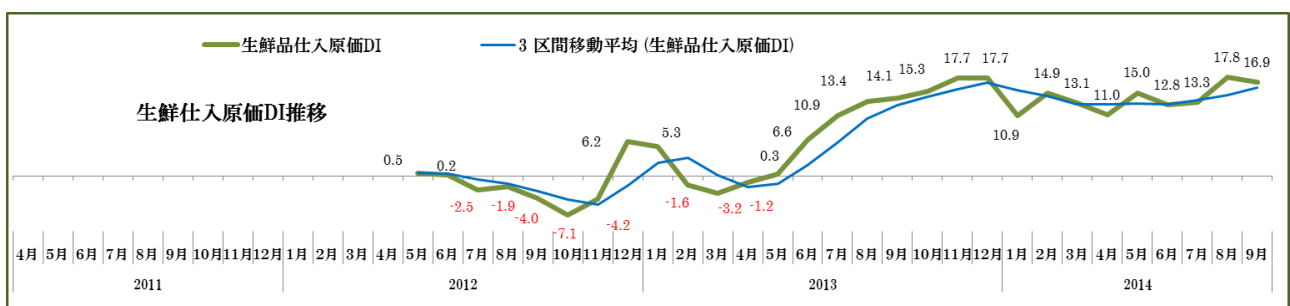
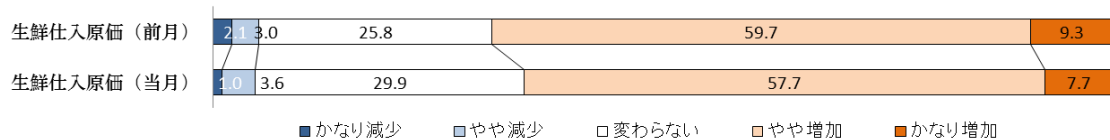
⑤販売価格 DI

高水準で横ばい傾向



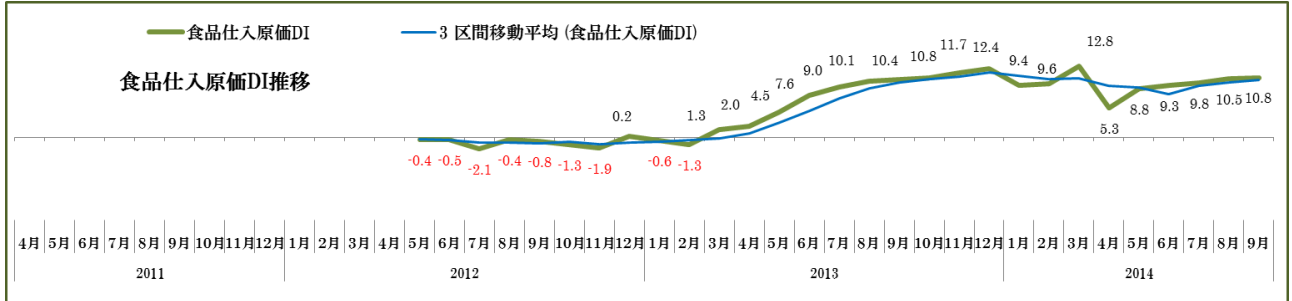
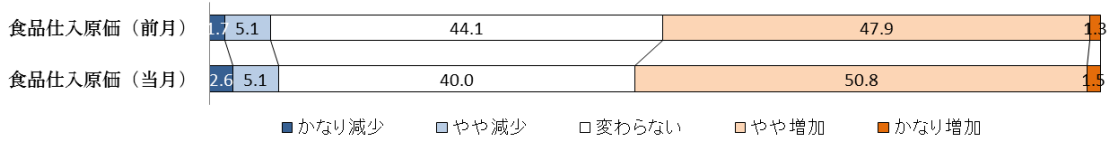
⑥生鮮仕入原価 DI

高水準で横ばい傾向



⑦食品仕入原価 DI

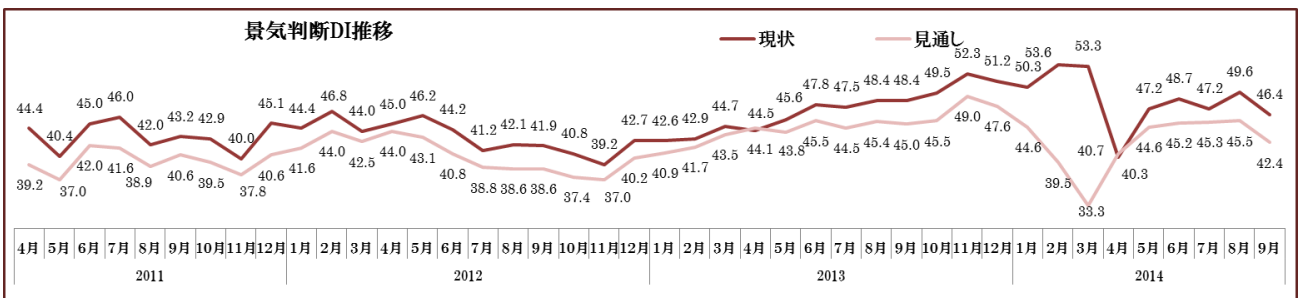
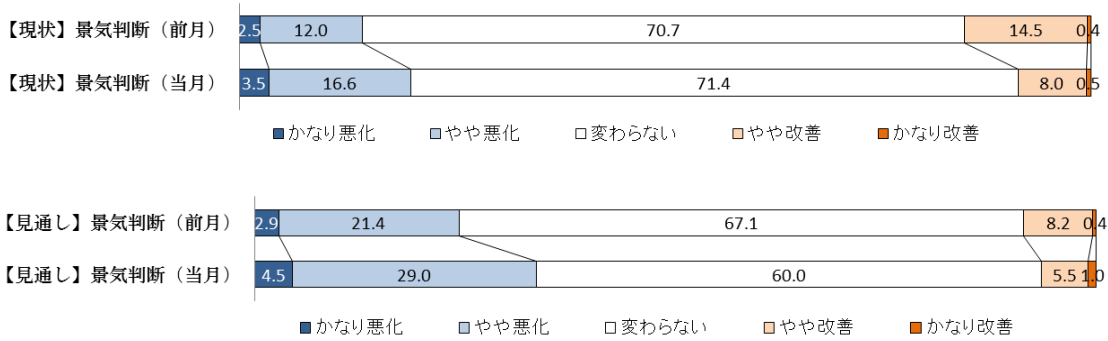
高水準で横ばい傾向



2. 景況感調査

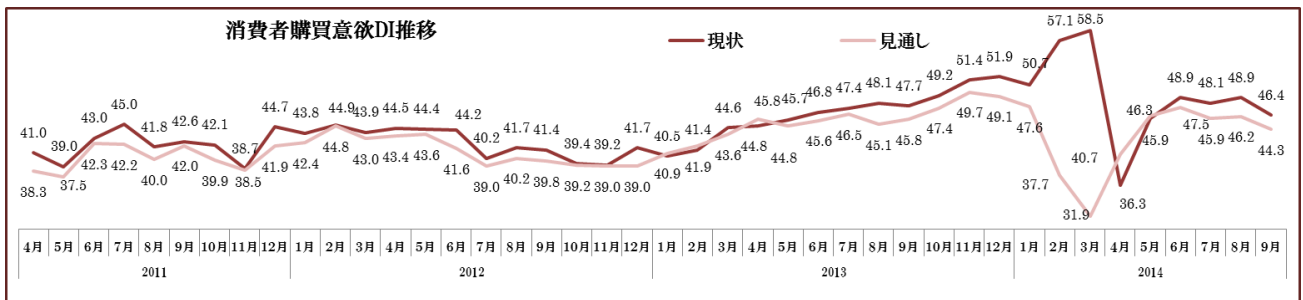
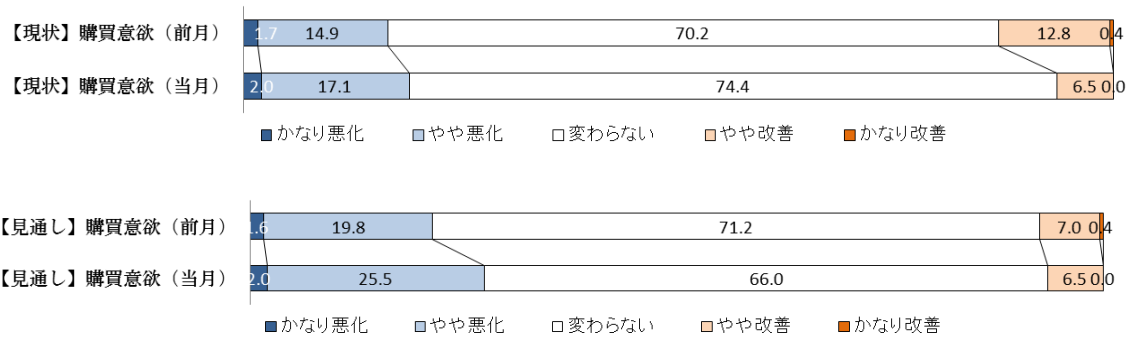
①景気判断 DI

横ばいでの推移が続いていたが、9月は現状、見通し判断ともに弱含み



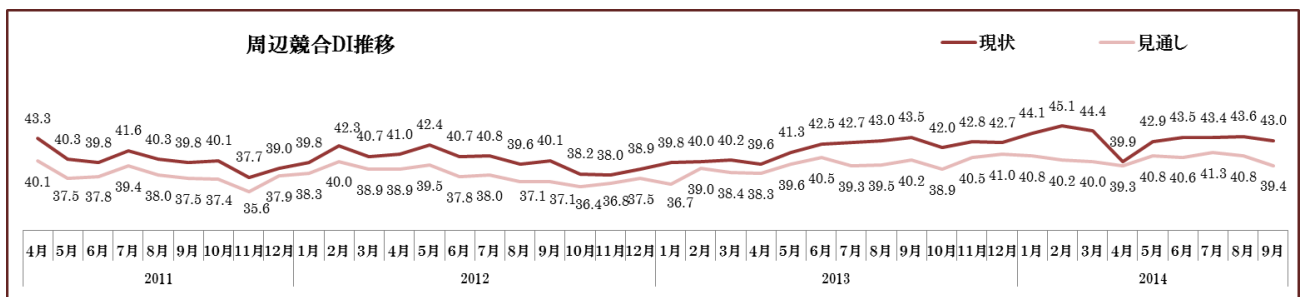
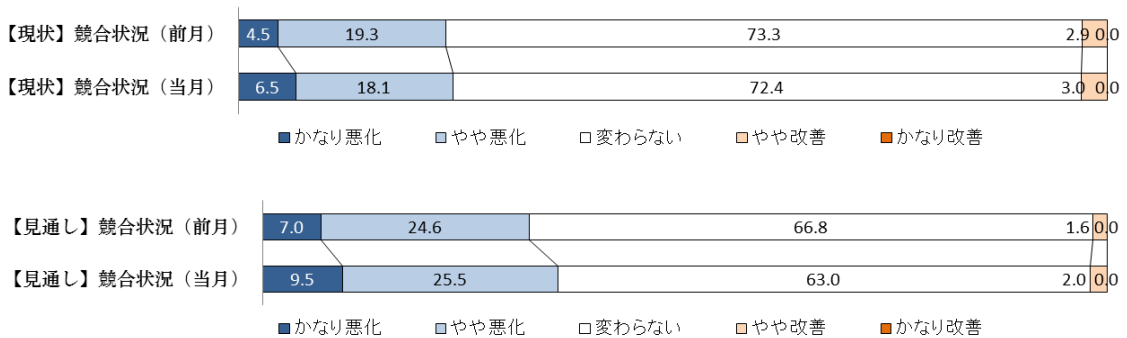
②消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断ともに弱含み



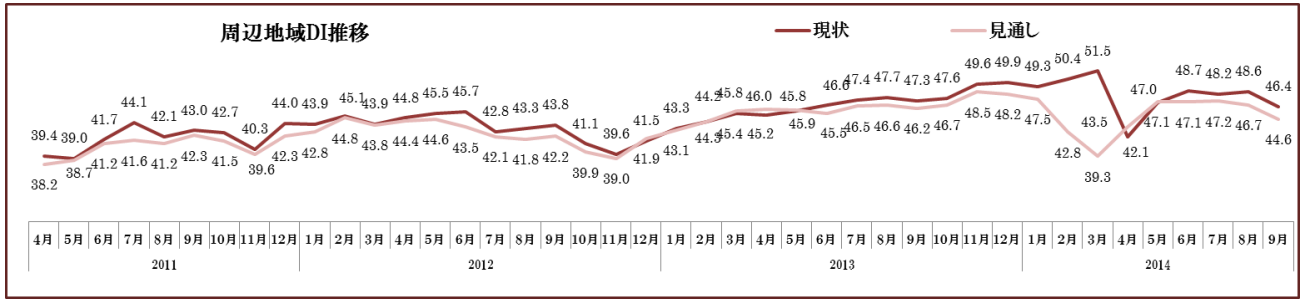
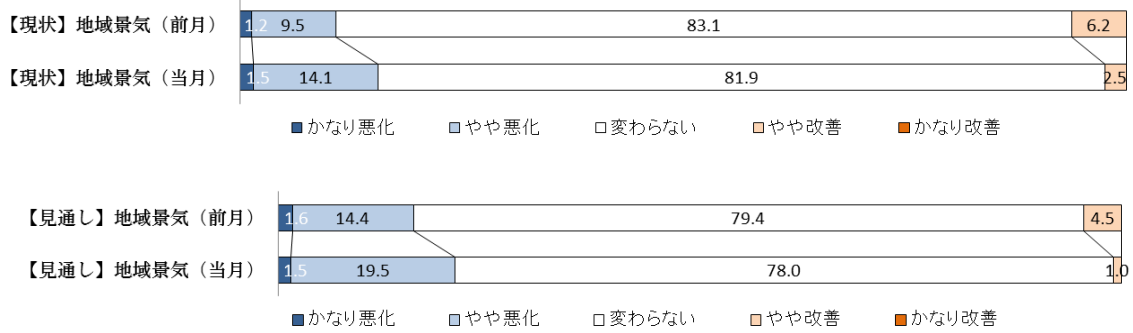
③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



④周辺地域景気判断 DI

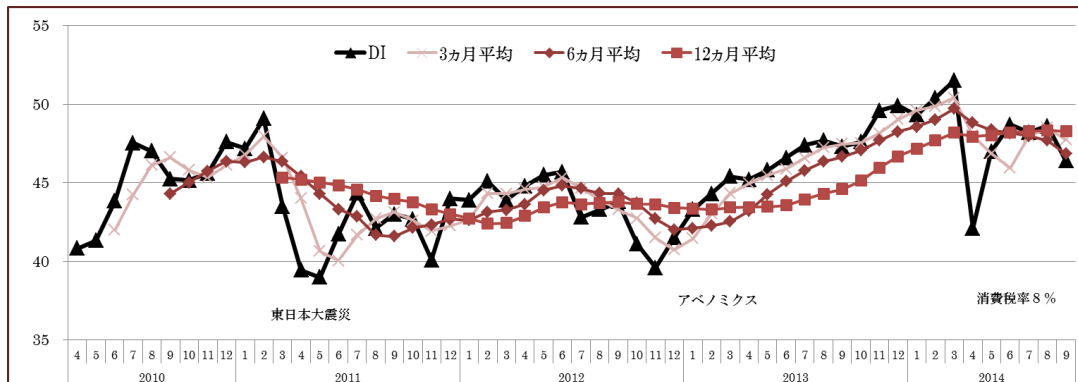
現状判断、見通し判断ともにやや弱含み



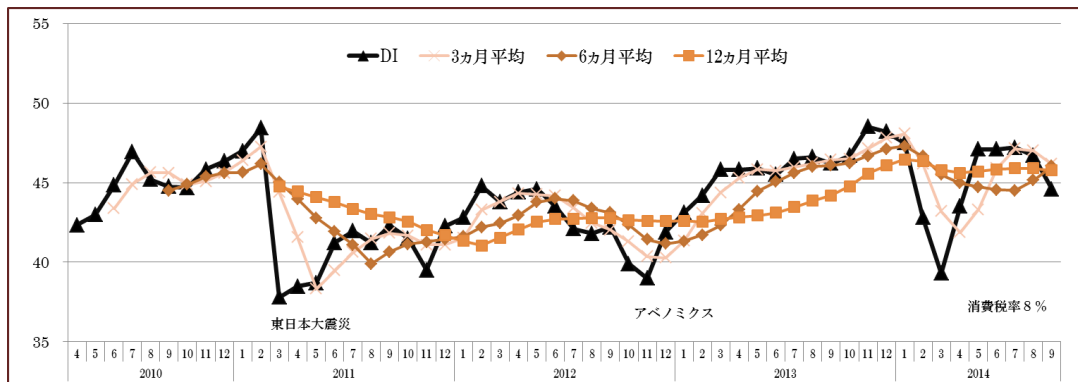
長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

消費税率引き上げの影響を受け下落し、6月以降3ヵ月連続で横ばい推移が続いていたが、9月は再び下降に転じた。現状判断DIはすべて下向きの推移となり、また、各移動平均線が12ヵ月移動平均線を割り込んでおり、下降トレンドに入ったとみられる。見通し判断DIも同様に弱含みとなっているが、6ヵ月移動平均線は上向きでの推移を維持している。

現状判断（中長期傾向）



見通し判断（中長期傾向）



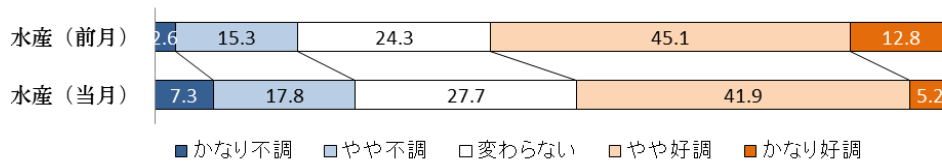
III. カテゴリー別動向

【青果】 やや好調 DI：6.2（前月3.7）



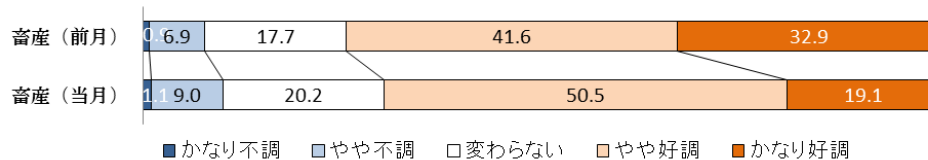
	好調コメント	不調コメント
青果	相場高(葉物野菜)、カットサラダ、きのこ類	果物類(秋果実)

【水産】 やや好調 DI：5.0（前月12.6）



	好調コメント	不調コメント
水産	さんま(豊漁)、秋鮭	刺身類

【畜産】 好調 DI：19.4（前月24.7）



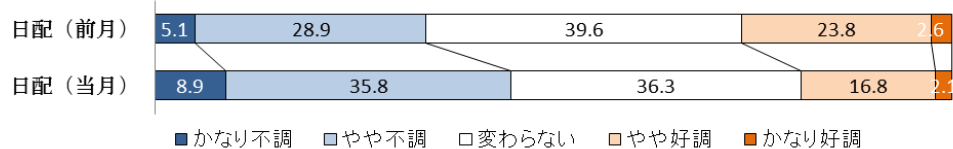
	好調コメント	不調コメント
畜産	相場高、国産豚肉、国産牛、鍋・焼肉需要	競合

【惣菜】 やや好調 DI：9.3（前月7.8）



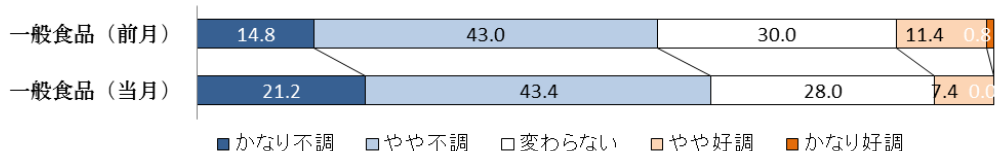
	好調コメント	不調コメント
惣菜	行楽需要、各種取組み強化	

【日配】 やや不調 DI: **-8.2** (前月 **-2.6**)



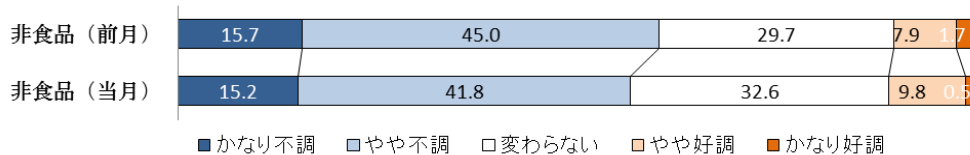
	好調コメント	不調コメント
日配	おでん、鍋需要	アイス、乳製品(気温低下)、デザート、冷凍食品

【一般食品】 不調 DI: **-19.6** (前月 **-14.9**)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	菓子(玩具菓子)、秋商材	飲料、米、価格競争

【非食品】 不調 DI: **-15.4** (前月 **-16.3**)



	好調コメント	不調コメント
非食品		他業態との競合、たばこ

() は少数コメント

DIによる好不調判断

かなり好調: 20 以上 好調: 10~20 やや好調: 0~10
 かなり不調: -20 以下 不調: -20~-10 やや不調: -10~0

2014年9月キーワード TOP 3

1. 気温の低下
2. 日曜日が一日少ない
3. 秋商材

スーパーマーケット景気動向調査

9月実績速報版集計 200社
 8月実績確報版集計 244社